



## 令和3年度を振り返って

理事長 藤崎 敬

令和2年2月からの新型コロナの感染状況は、令和3年度にも第5波・第6波と続き、事業が思うように実施できませんでした。昨年度と異なるのは、「健康・体育活性化セミナー」と「足もとからの健康講座」は例年とは形を変えて実施しました。

「健康・体育活性化セミナー」は人が集まることが無理なので、誌上となりパネラーや会員の協力で「誌上フォーラム」として行いました。その結果は、皆様のお手元にお送りいたしました。意見や感想をいただく等、感謝しています。体育・健康の課題解決の参考になればと思います。

また、「足もとからの健康講座」は保護者の参加は中止し、荒川区立尾久小学校の大橋昭彦校長や担任の先生方の御協力で、児童のみが参加しての実施となりました。その内容・様子はこの会報で記事として掲載していますので、是非、お読みください。

昨年度より事業を工夫して実施しましたが、このコロナ中での工夫も実施内容に限界を感じます。はやく感染等を心配しないで会合ができる日が待ち遠しいです。

令和3年度・4年度の「小学校体育研究員」の募集も見送ったのも大変残念です。

この会報の内容に菅原健次理事に学体連の座談会からの「深い学び」についての内容を掲載しています。是非お読みいただき参考にしてください。

## 令和4年度 主な事業の予定

- |                     |          |                  |             |
|---------------------|----------|------------------|-------------|
| ・ 通常総会              | 5月16日(月) | 午後3時             | イズミヤ会議室     |
| ・ 第1回 地区代表者会        | 6月 中旬    | 午後6時半            | イズミヤ会議室     |
| ・ 第17回 健康・体育活性化セミナー | 8月 3日(水) | 午前9時             | 千代田区立昌平小学校  |
| ・ 第16回 足もとからの健康講座   | 10月 中旬   |                  | 大田区立田園調布小学校 |
| ・ 第14期 小学校体育研究員発表会  | なし       | (小学校体育研究員の募集を中止) |             |

※ 日時・会場については、コロナ等関係で未定の所や変更がある場合があります。

ホームページをご覧ください。

## ホームページのお知らせ

ホームページアドレス <http://npo-ktkc.com>

Eメールアドレス [info@npo-ktkc.com](mailto:info@npo-ktkc.com)

QRコード→



## 「知識及び技能」にも深い学びがある

理事 菅原健次

令和3年10月13日(水)の学体連会報の特集「三教科調査官による座談会」の記事を読みながら、深い学びについて「知識及び技能」の視点から考えをまとめました。

1 行い方を指導しないハードル走の学習は、考えにくい。第一ハードルを通すときには、決めた足で真っすぐ走るなど「こういったことが大事だよ」ということは、行い方の知識をしっかりと指導する。その上で子どもたちが技能を獲得したり、思考・判断を行っていく。

行い方の知識をきちんと資質・能力という形でスポットを当て、子どもたちが分かっているか、分かったとできたということをつなげるためにも、行い方の知識をこれからも大事にしたい。

2 マット運動の技能「回転力を高めるための動き方」は、汎用的な知識である。それを具体的にどうやったら回転力を高める動きができるのか、それは具体的な知識である「顎を引く」「おへそを見る」「勢いをつけろ」とセットになっている。それは、「できるようになっていく⇔分かったようになっていく」ことにほかならない。つまり、**汎用的な知識と具体的な知識の往還を図る**ということ、今回知識のところで押さえる。より知識を確実なものにしていく。それから使える知識にしていく。このような学習こそ「知識及び技能にも深い学びがある。」ということである。

3 行い方を指導する際、「どうしたらそれができるか知っている」「なんでできるの。それ」「どこがポイントなのか知っている」「何でそうなのか」と発問をしていきながら、考えさせていくことによつて、「ただの知っている」から、その中身を理解していくことで、「**使える知識**」になっていく。それが、具体的な知識と汎用的な知識が結びついたところの発展的な姿であり、「**深い学び**」と考えるゆえんである。それは、汎用的な知識と具体的な知識の往還を図るということでもある。

以上は、教科調査官の抜粋です。

皆様方ならば、学習の過程で、例えば「協力する」ということの具体的な場面とか協力の仕方を教えるということに加えて「なぜ協力するのかという汎用的な知識」を教えておられることと存じます。それもごく自然になさっておられます。そのことを私は「深い学び」に違いないと考えています。なぜならば、協力することの気持ちよさを味わった子どもたちは、他の教科のグループでの学習でも進んでかかわっていくことでしょう。体育科で味わった心地よさを味わおうとしていきます。子どもの頃学んだ協力の方法や実践、そこで味わう快感は、「社会に出たとき、それに似た場面に出会ったとき、自然に心も体も動き始め、きちんとした行動となって表れる、そういう態度が取れる。」につながっていく汎用的な知識です。

視点を変えてみましょう。分かり方には、段階があります。単に「とても大事な役割があることが分かりました。」段階から、分かったことの価値「もっとこのことについて調べてみたいです。」という追求心となり、実践への意欲「お家に帰って、絶対～したいと思いました。」ともなれば、これも、具体的な知識が、汎用的知識に変容を遂げたといっても過言ではないと思います。

さらに、「**知識の深まりを支えるポイントには、発問が大きな位置を占めている。**」と教科調査官は述べました。発問は、子どもの思考や活動を促すとともに、自ら考え、活動したくなるものであり、授業のねらいや課題解決につながるものです。**自分なりの答えを学びの中で生み出させる問い**です。「発問⇔回答」という往還は、気づきを促し、学習者が主体的に技能を磨いていくことにもなります。

その発問のポイントは、「何を問うているのかがはっきりしていること」「簡潔に問うこと」「平易な言葉で問うこと」そして、「ゆれない」ことです。

## ケンさんと、もとちゃんの「なるほど!足のひみつ」

早川侍揮

子どもの靴の履き方について説明するとき、車に例えることがあります。「急ブレーキをかけた時に、シートベルトを締めていなかったらどうなるかな?」と問うと、「危ない」や「体が飛んでしまう」など想像し答えてくれます。続けて「靴ひもやベルトをしっかり締めないと、走っていて急に止まった時に、靴の中で足はどうなるのかな?」と問うと、靴をしっかり履くことの意味を考えてくれます。

第16回目となった「足もとからの健康講座」は、荒川区立尾久小学校に通う3・4年生とともに、足のひみつについて考えました。足の仕組み・足の素晴らしい力・靴の履き方など、体験を交えながら学びました。なぜだろう?なるほど!を繰り返し、最後に反復横跳びを、①普段の靴の履き方、②正しい靴の履き方、この二通りの履き方で行いました。さて、どうなったと思いますか?



**児童の感想 1** きょうは足のけんこうについてお話をしてくれてありがとうございました。「アーチ」という物でしんどうをふせいでいるとはじめて知りました。わたしは、足をけんこうにするため、電車なるべく立つことにしました。アーチは人にとってすごくたいせつなことがわかってすごいです。

**児童の感想 2** わたしは正しいくつのはき方を知り、正しくくつをはくと反復横とびをやったら、回数が5回ふえました。わたしは本当に変わったことにおどろきました。お母さんや、お父さんに言ってお父さんやお母さんに正しくくつをはかせてあげたいです。



**児童の感想 3** くつの前のはき方と、教えてくれたはき方をくらべたら、前のはき方だとぬげて、教えてくれたはき方をやったらぜんぜんぬげなくてびっくりしました。友達とかと遊ぶときも、このくつのはき方をしようと思いました。

**児童の感想 4** 先日は、くつの正しいはき方や足のことについていろいろ教えてくださり、ありがとうございました。私は反ぶく横とびの回数がふえたことにおどろきました。このことから、正しくくつをはけば、50m 走のタイムも少しは速くなるのではないかと思います。最近は何りな物がふえ、歩く機会がへってきていますが、たくさん歩いて土ふまずを成長させていきたいです。足で「歩く」というとても身近な事についてくわしく教えて下さりありがとうございました。



## お知らせとお願い

### ◇地区代表者会について

令和3年度は地区代表者の方々に依頼し、返事等をいただきましたが、会合は実施できませんでした。令和4年度も6月と1月に予定しています。地区代表者の依頼の文書が届きましたら、是非、御協力ください。

### ◇小学校体育研究員 令和4年度 14期生の募集について

令和3・4年度の小学校体育研究員の募集は、コロナ感染状況が収束の見通しが立たないと、実施できないと判断し見送りました。実施できるようになりましたら、文書をお送りいたしますので、その時はご推薦等御協力ください。

### ◇イズミ会の皆様へ

小学校体育研究員を修了した皆様、コロナ感染の防止など困難な中、学校等の現場で日夜懸命に努力し、教育活動をされていると思います。小学校体育研究員を修了した仲間が集まる機会が持てなくなっていますが、同期の人や期は違っても連携し、協力し合って頑張ってください。

年1回のイズミ会を大切にしていきますので、感染が落ち着きましたらお会いしましょう。その日を楽しみにしてください。

### □ シューズリサイクルについて

現在、コロナの影響で回収が難しくなり、引き続き今年度も難しくなっています。その結果、リサイクル優良校の選出も見送っていますこと、ご了承ください。

### □ 同封した「チラシ・びら」について

令和3年度はご協力いただいている賛助会員の各社の「チラシ・びら」(各社作成)を同封いたしました。今年度も同じように同封いたします。ご利用ください。

## あ と が き

会員、賛助会員の皆様、これまでのご協力に、心より感謝いたします。令和4年度も変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

制作編集：早川家正